

## 伊勢原協同病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。よろしくお願いいたします。

1. 研究課題名	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したグローバルデータベースの作成
2. 承認日 承認番号	令和4年6月13日 No.143
3. 当院の研究責任者	整形外科 野尻 賢哉
4. 他の研究機関 研究責任者	新潟大学 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 特任教授 今井 教雄
5. 本研究の目的	<p>大腿骨近位部骨折は脆弱性骨折のいわゆる終着駅とも言われ、高齢化が急速に進行する中、世界的な規模での対策が求められている。Fragility fracture network (FFN) では活動の1つとして大腿骨近位部骨折治療と予防のガイドラインと Audit に基づいたデータベースを作製し、大腿骨近位部骨折治療の改善、進歩への改革を進めている。</p> <p>FFN-Japan (FFN の日本国内組織) では国際比較を念頭に置いて、FFN 共通の Minimum Common Dataset を用いたデータベースを作製して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討する。その結果に基づいてガイドラインを反映させた Audit system を提案する。経時的なプロジェクトとして大腿骨近位部骨折の適正治療、二次性骨折予防の徹底を実現し、海外での実施モデルを参考に国家的に診療報酬に反映されることを目指す。</p>
6. 調査データ 該当期間	2022年4月1日から2024年3月31日
7. 研究の方法 (使用する試料等)	1) 対象となる患者さん 大腿骨近位部骨折の方 (但し、年齢 50 歳未満の方は対象外) 2) 利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。

<p>8. 試料/情報の他の 研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>提 供 先：NPO 法人 日本脆弱性骨折ネットワーク 提供方法：大腿骨近位部骨折患者 追跡調査票に基づき、匿名化された患者 基本情報および診療情報を登録し、電子メールで送付。</p>
<p>9. 個人情報の取り扱 い</p>	<p>本研究で利用する情報は、患者さんを直接特定できる個人情報を削除いた たします。本研究で利用する情報は、本研究の責任者が研究終了まで厳重 に管理し、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄しま す。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを 特定できる情報は利用しません。</p>
<p>10. お問い合わせ</p>	<p>伊勢原協同病院 整形外科 電話：0463-94-2111 担当者：野尻 賢哉</p>
<p>11. 備考</p>	